

## 方言で町の文化や魅力を発信！

# 「CM大賞2018」に只見町参加

11月25日、KFB福島放送の「ふくしまの元気！応援CM大賞2018」の審査会・公開収録が郡山市内で開催され、只見町も参加しました。各市町村34作品がエントリーした今回、只見町観光町づくり協会の方々を中心に、方言で只見の文化を描いた作品を制作しました。結果は残念ながら入賞とはなりませんでしたが、CMを通じて町の魅力を発信しました。



▲番組は12月22日に同局で放送され、只見のCMも年10回放送される予定です。



◀ 剣道競技で優勝と3位を飾った只見剣友会A・Bチームの皆さん

▶ 男女混合バレー競技で準優勝したTADAMIチームの皆さん



## 只見町民が大活躍！

# 「南会津郡スポーツ大会」

11月25日、市町村体育協会南会津地域連合会主催の「第5回南会津郡スポーツ大会」が郡内3会場で開かれました。只見町からは、剣道競技に「只見剣友会」のAとBチーム、男女混合バレー競技に「TADAMI」チームが出場しました。3チームで争われた剣道競技では「只見剣友会A」が優勝と同Bチームが3位、7チームで争われたバレー競技では「TADAMI」チームが準優勝を飾り、只見町民が活躍した大会となりました。

この大会は、郡内の町村民の交流や体力づくりなどを目的に開催しているもので、剣道・男女混合バレー・卓球の3競技で行われました。

## 只見小学校でESD(海洋教育)の公開授業研究会

# 「海洋教育スクールプログラム実践発表」

11月30日、ユネスコスクールに認定されている只見小学校が実践するESD(海洋教育)の公開授業研究会「海洋教育スクールプログラム実践発表」が同校で初開催され、町内外から80名以上の教育関係者が参加しました。これは、只見と海のつながりを意識した海洋教育の取り組みを公開し、多くの参加者と研究を深めるもので、4年生と6年生の授業が公開されました。4年生の公開授業では、3名の只見町食生活改善推進委員会の方々を講師に迎え、「海とともにある只見の食文化」



▲只見町観光町づくり協会、只見町社会福祉協議会、役場の講師3名からアドバイスを受けた6年生の公開授業

をテーマに只見の郷土料理「ざく煮」と海の食材のつながりについて学びました。また、6年生の授業では、まちづくりに携わる町や団体から3名の講師を迎え、「町の課題と未来展望」をテーマに「受け継がれる観光の町」「雪を活用する町」「自然が楽しめる町」の視点で、児童たちがまちづくりについて提案しました。公開授業後は、分科会や全大会、東京大学の先生による講演会などが行われ、今後の教育活動の充実を図りました。

## 少し早めにサンタクロースが登場！ 「朝日クリスマス会」開催

12月2日、朝日地区地域づくり委員会が主催する「クリスマス会」が朝日振興センターで開かれ、町内の親子連れなど約100名が参加しました。

一足早めに催されたクリスマス会では、ゲームやビンゴ大会、プレゼント交換などが行われたほか、ブナりんも登場し、子どもたちは一緒にクリスマスを楽しんでいました。さらに、ALT（外国語指導助手）の先生と委員会メンバーがサンタクロースに扮し、子どもたち一人ひとりにお菓子のプレゼントを手渡しました。サンタクロースからプレゼントをもらった子どもたちは大喜びし、会場は笑顔に包まれていました。



▲サンタクロースからプレゼントを受け取る子どもたち

## 親子でクリスマスを楽しむ！

## かるがもクラブで「クリスマス会」開催



▲クリスマス会を楽しんだ参加者の皆さん

12月7日、かるがもクラブの「クリスマス会」が保健福祉センターで開かれ、12組の親子が参加しました。民生児童委員3名の協力のもと開催されたクリスマス会は、クリスマスツリーの飾り付けやクリスマスソングを歌い、みんなで楽しみました。続いて、サンタクロースからお菓子やお腕などのプレゼントが手渡され、子どもたちは嬉しそうに受け取っていました。

## サンタクロースが自宅にやってくる！

## 「子供たちに夢を贈る会」が夢とプレゼントを届ける

12月24日、只見青年会と仲間たちによる「子供たちに夢を贈る会」が行われ、子どもや高齢者にクリスマスプレゼントが届けられました。これは、町内の青年や高校生などの有志がサンタクロースとなり、只見・朝日地区を対象に各家庭から預かったクリスマスプレゼントを子どもや高齢者に届けるという事業で、今年は8軒の依頼がありました。当日は、「メリークリスマス」と言いながらサンタクロースが自宅を訪れ、その姿を見た子どもたちは大喜びで出迎え、サンタクロースからプレゼントを受け取っていました。プレゼントをもらった子どもたちは感謝の気持ちを伝えていました。



▲サンタクロースから夢とプレゼントを受け取る子どもたち

## 只見町出身者と交流を深める 「ふるさと只見の集い」開催

11月25日、只見町出身者などで結成するふるさと只見会の「ふるさと只見の集い」が東京の四谷で開催され、首都圏在住の只見町出身者の方々や町関係者など総勢58名が参加しました。町からは菅家町長、酒井右一副議長、目黒長一郎商工会長、渡部理一まちづくり観光協会事務局長が参加しました。集いでは、戊辰150周年記念として長浜在住の大宮旭溪さんによる琵琶演奏「白虎隊」や商工会提供による只見の特産品があたるビンゴ大会などが行われ、只見町出身者との交流を深めました。ふるさと只見会世話人代表の目黒信さんは「今後も会を盛り上げていくため、ふるさと只見会への参加者を募集しています。希望の方は事務局の観光商工課までお問い合わせください」と話しました。



▲大宮さんの琵琶演奏を聞き入る参加者の皆さん



▲グループ内の振り返りを発表する山内さん

を多くとり、食べる順番を変えるなど工夫しています。体脂肪率も下がり筋力もついて効果を実感しています。今では家族もまき込んでみんなで健康意識を高めています」と話し、講師の吉成さんは「全員が目標達成できるように一緒に頑張りたい」と話しました。

## 健康づくり事業「イイからだづくりプログラム」 全参加者で56.2kg減量！

12月13日、只見町とRIZAP（ライザップ）が連携する健康づくり事業「イイからだづくりプログラム」が只見振興センターで開かれ、受講生20名が参加しました。

全8回のうち中間となる5回目の開催となった今回は、これまでの振り返りを中心に行われました。RIZAPの中間発表によると、参加者全20名の合計減量数は56.2kgで、効果を実感できるようになってきています。

講座に参加する山内泰生さんは「約1ヶ月半で無理なく体重が2kg減少しました。一番気を付けているのは食事で肉類

## 只見町が民具收藏のモデル地域として 中国から視察団を受入れ！

12月11日、中国の雲南省中国紅河学院の楊六金教授と広東貿易学院の程亮副教授が只見町を訪れ、国指定重要文化財「会津只見の生産用具と仕事着コレクション」を視察されました。これは、急速に近代化が進む雲南省で、多くの民具が捨てられている問題があることから、今回民具收藏のモデル地域として只見町を視察したものです。只見方式で集めた民具や整理したカードを見学した楊教授は「今後、雲南省の博物館と只見町の交流を進めたい」と話されていました。



▲黒谷の民具收藏庫を視察する楊教授(中)、程副教授(右)と案内する町文化財調査委員で元福島県立博物館職員佐々木長生さん(左)

## お正月を迎える準備！ 「正月飾り講座」を開催

お正月を迎えるための「正月飾り講座」が只見・朝日振興センターでそれぞれ行われました。12月4日、朝日振興センターの「しめ縄・しめ飾り講座」では渡部稔さん(福井)を講師に迎え、10名の参加者がスゲを使って正月飾りを作りました。12月9日、只見振興センターの「しめ飾り講座」では三瓶彰治さん・こずえさん夫妻(叶津)を講師に迎え、10名の参加者がイワシバを使った伝統技法を学びました。



▲只見振興センターの講座で、完成したしめ飾りを手にする参加者の皆さん

## 美味しい年越しそばを自分で打つ！ 「そば打ち講座」を開催

12月9日、年越しそばづくりを学ぶ「そば打ち講座」が只見振興センターで開かれ、10名が参加しました。講師に只見町そば部会のそば打ち名人3名の方を迎え、そば打ちを学びました。

講座では、水まわしや練り、丸だしといった手順を踏まえながらオリジナルの手打ちそばを作りあげ、各自完成したそばを持ち帰りました。最後に講師が打ったそばを試食し、参加者は手打ちそばの味を堪能していました。



▲美味しい手打ちそばを作った参加者の皆さんと只見町そば部会の皆さん

## 只見中学校の全校生徒が本場の英語を学ぶ ブリティッシュヒルズで語学研修

12月5～6日、只見中学校の全校生85名が天栄村の語学研修施設「ブリティッシュヒルズ」を訪れ、英語研修を行いました。これは、英語で伝えあう体験を通して生徒たちの語学力向上などを目指したもので、英国の文化やマナーに触れながら英語を学習しました。授業は英国出身のスタッフが講師を務め、全て英語で行われます。生徒たちは積極的に英語でコミュニケーションを図り、楽しく学んでいました。



▲イギリス出身のスタッフが対応しているブリティッシュヒルズ

## 正しい字の書き方を学ぶ 「習字教室」を開催

12月25日、正月行事の書きぞめを学ぶ「習字教室」が明和振興センターで行われ、小学1～6年生20名が参加しました。講師に墨和会の目黒仁也さん、ふみ江さん夫妻を迎え、「福島県書きぞめ展」の課題を題材に、正しい字の書き方を学びました。1年生はフェルトペンで字の練習を行い、2～6年生は毛筆で「レモン」「初日の出」などの課題を練習しました。児童たちは、字の書き方の基本を学ぶことができました。



▲講師の目黒さんから字の基本を学ぶ児童の皆さん